

1 学期がんばりました！ 成長したことを家族皆で喜びましょう！

夏の陽を浴びて草木は勢いよく茂り、生命の力強さを見せてくれます。平素は聖母の小さな学校の教育に格別のご協力をいただき、ありがとうございます。

今日で 1 学期が終わります。生徒たちはそれぞれ 4 月につかんだ自分の課題を見据えながら、毎日、真面目に通学しました。こうして真面目に通学していると、日々の生活が整ってきます。朝起きて活動できるようになりました。聖母の小さな学校での学びも充実し、自分について考えることができるようになりました。

このように不登校の子どもたちが社会的自立に向かって歩む時、最も大切なことは、「不登校の自分を見る」こと、次に、その自分を「温かみを持って受け止める」こと、そして「不登校の自分も大切な自分が変わらない」ことを学ぶことです。自分のことをこのように真剣に見ていると、あんなにいやだった自分のことが、「捨てたものではない。なかなかいいではないか」と思えるようになります。そうして少し意欲的になります。「もっと人前で話せるようになろう」とか、「同じ中学の人がいても逃げないようにしよう」とか「自分の問題から目をそらさないようにしよう」とか、「どうして自分は学校にいけないのだろう」とか、それぞれが内面の深さに向かって進んでいきます。

このことはまた、行動の変化にも表れてきます。ある生徒は、自転車で片道通学することにチャレンジしています。自力で通うことの自由さや楽しさも少し体験しています。遅刻しなくなりました。宿題も忘れなくなりました。また、ある生徒は、仲間に良く話しかけるようになりました。自分から挨拶もするようになりました。人と共に生きる上で大切なことです。小さな変化ですが、大事にしたいと思います。また、7 月から 2 名の中学 3 年生が入学しました。この 2 人にも、不登校という現実を、自分の生きることや成長につながる意味のあるものにできるよう、教育していきたいと思えます。

聖母の小さな学校では、夏休みもサマーキャンプなど、たくさん登校日があります。多くの先生方にお世話になります。また、家庭でも、子どもと一緒に 1 学期をふりかえり、好ましい小さな変化を、喜びをもって受け止めるようにしてください。そして、両親も共に成長していきましょう。夏休みも面談をとってください。

今学期も多くの方々にご協力いただきました。
ありがとうございました。



特別授業「数学」
(江宮先生)



1 学期終了パーティー用
「サンドイッチ作り」